

平成25年度（公財）日本バレーボール協会公認 B級・C級公認審判員資格認定審査会
6人制筆記試験問題

平成25年7月6日（土）

平成25年7月7日（日）実施

【注意】 解答用紙はすべて指定された解答欄に記入してください。

問1 次の平成25年度6人制競技規則について、（ ）に当てはまる語句または数字を【語群】の中から選んで答えてください。語句や数字は何度使っても構いません。

- ① 競技エリアは、コートと（ 1 ）を含む。長方形で（ 2 ）でなければならない。
コートは（ 3 ）m×（ 4 ）mの長方形で、最小限（ 5 ）mの幅の（ 1 ）で囲まれている。フリープレー空間は、障害物が何もない競技エリアの上方の空間で、競技をする表面から、最小限（ 6 ）mの高さがなければならない。
- ② FIVB世界・公式大会では、（ 1 ）の幅はサイドラインから最小限（ 7 ）m、エンドラインから最小限（ 8 ）mなければならない。フリープレー空間は競技エリアの表面から最小限（ 9 ）mの高さが必要である。
- ③ すべてのラインは幅（ 10 ）cmである。それらは明るい色で、フロアおよび他のラインと異なる色でなければならない。
アタックラインは、それぞれのコートに、そのライン幅の後端がセンターラインの幅の中心から（ 11 ）mとなるように引く。アタックラインにより（ 12 ）を区画する。
FIVB世界・公式大会では、アタックラインはサイドラインから外側に、長さ（ 13 ）cm、幅（ 14 ）cmの短いラインを（ 15 ）cm間隔で、全長（ 16 ）mとなる破線を引き、延長される。
- ④ サービスゾーンは、それぞれのエンドラインの後方に位置する（ 17 ）mの幅を持つゾーンである。サイドラインの延長線上に、エンドラインの後方（ 18 ）cmに、（ 19 ）cmの長さで引く2本の短いラインにより両端を区画する。両方の短いラインは、サービスゾーンの幅に含まれる。
- ⑤ FIVB世界・公式大会では、ウォームアップエリアがそれぞれのベンチ側フリーゾーンの外側のコーナーに、約（ 20 ）m×（ 20 ）mの広さで設けられる。
- ⑥ ペナルティエリアは、それぞれのエンドライン延長線上の外側でコントロールエリア内に約（ 21 ）m×（ 21 ）mの広さで、（ 22 ）脚の椅子を用意し設けられる。ペナルティエリアは5cm幅の（ 23 ）ラインで区画される。
- ⑦ 競技場の最低気温は、（ 24 ）℃（50°F）を下回ってはならない。FIVB世界・公式大会では、最高気温は（ 25 ）℃（77°F）を上回ってはならない。また、最低気温は（ 26 ）℃（61°F）を下回ってはならない。
- ⑧ FIVB世界・公式大会では、照明の明るさは競技エリアの表面から（ 27 ）mの高さで測定し、（ 28 ）～（ 29 ）ルクスでなければならない。
- ⑨ ネットはセンターラインの上に垂直に設置し、上端の高さは男子（ 30 ）m、女子（ 31 ）mである。
ネットの高さは、コートの（ 32 ）で測定する。両サイドライン上のネットの高さは、完全に同じ高さで、規定の高さから（ 33 ）cmを超えてはならない。
ネットは、縦幅（ 34 ）m、長さは（ 35 ）～（ 36 ）m（サイドバンドの外側は両端各25～50cm）で、10cm角の黒い網目で作られている。
その上部には、（ 37 ）cm幅で二つ折りの白いキャンバス地の水平帯（白帯）が、全長にわたり縫い付けられている。
ネットの下部には、上部と同様の幅（ 38 ）cmの水平帯（白帯）があり、その中にロープが通っている。

- ⑩ アンテナは長さ (40) m, 直径 (41) mmの弾性のある棒で, (39) または類似の素材で作られている。
アンテナは, ネットの上 (42) cmの高さに伸び, この部分には (43) な色で, できれば赤と白で (44) cmごとのストライプを付ける。
アンテナは (45) の一部とみなされ, ボールの (46) の横の限界を定める。
- ⑪ ボールの規格は, 円周 (47) ~ (48) cm, 重さ (49) ~ (50) g, 内気圧 (51) ~ (52) kg/cm²である。
- ⑫ 選手のジャージには, 1 から (53) までの番号を付さなければならない。その番号は, 胸部の高さが最小限 (54) cm, 背部の高さが最小限 (55) cmなければならない。番号の字幅は最小限 (56) cmである。
チームキャプテンは, 胸部の番号の下に, (57) × (58) cmのマークを付けなければならない。
- ⑬ 各チームは, 1セットにつき (59) 回までのタイムアウトと, (60) 回までの選手交代を要求することができる。

【語群】

280	65	±2	1500	6	1	9.5	2.38	1.75
2.40	黒い	205	270	対照的	0.315	許容空間	支柱	ネット
サービスゾーン	プラスチック	ファイバーグラス	対称	左右対称	バックゾーン	正方形	フロントゾーン	フリーゾーン
バック	中央部	2	7	2.24	10	8	9	2.43
260	フロント	67	25	5	15	12.5	18	20
赤い	3	80	白い	0.310	長方形	4.61	4.26	2.15
21	30	16	0.325	1300	60	1000	0.30	1.80

問2 次の競技規則の文章について, 取り扱いが正しければ○を, 誤っている部分があれば×を記入してください。

- (1) 相手チームのサービスをブロックしてもよい。
- (2) サーバーは, 主審がサービスのホイッスルをした後, 5秒以内にボールをヒットしなくてはならない。
- (3) サービスとは, バックライトの選手がサービスゾーンに位置し, ボールをインプレーの状態にする行為である。
- (4) ラインアップシートが副審または記録員にいったん提出されたなら, 正規の選手交代をせずに, ラインアップを変更することは認められない。
- (5) 各チームは, 記録用紙の選手リストの中から守備専門の選手であるリベロを2名指名しなければならない。
- (6) 選手が, ネットを含め, 支柱, ロープ, またはアンテナの外側にあるいかなる物体に触れて, 相手方のプレーに影響を与えた場合でも, 反則とはならない。
- (7) ブロッカーは, 相手チームがアタックヒットを行うまでは, ネットを越えてボールに接触することは許されない。
- (8) バックプレーヤーは, バックゾーン (フロントゾーンの後方) からであれば, どの高さでもアタックヒットを完了することができる。
- (9) 反則 (ネットタッチ, センターライン踏み越しなど) をしそうになる選手をチームメイトが静止したり, 引き戻したりしても反則にならない。
- (10) 1人または2人以上のブロッカーによるボールへの連続的な (速くて途切れない) 接触は, 1つの動作中であっても反則となる。

問3 次の文章は、競技規則「第7章 競技参加者の行為」のうち「不法な行為とその罰則」についての取り扱いです。その内容が正しければ○を、誤っている部分があれば×を記入してください。

- (1) 軽度な不法な行為は、罰則の対象にはならない。主審には、チームが罰則のレベルに達しないように防ぐ義務がある。
これは2段階で処置される。
ステージ1：ゲームキャプテンを通じて口頭での警告をする。
ステージ2：ゲームキャプテンにイエローカードを使用して警告をする。
- (2) チームメンバーによる試合での最初の無作法な行為に対しては、相手チームに1点とサービスを与える罰則を適用する。(ペナルティとしてレッドカードを示す。)
- (3) 侮辱的な行為(抽象的、または相手チームを侮蔑するような言葉やジェスチャー、あるいは軽蔑を表す行為)をチームメンバーがした場合は、失格となるので、主審はイエローカードとレッドカードを別々に示す。
- (4) 同じ試合で同じチームメンバーが不法な行為を繰り返した場合でも、無作法な行為であれば2回目以降もペナルティとしてレッドカードを示し、相手チームに1点とサービスを与える。
- (5) セットの開始前、またはセットの間の不法な行為に対しては、直後のセットに罰則を適用する。

問4 次の文章は、競技規則「第6章 リベロ」に関する取り扱いです。その内容が正しければ○を、誤っている部分があれば×を記入してください。

- (1) リベロは、チームキャプテンにはなれるが、ゲームキャプテンになることができない。
- (2) リベロは、ネット上端より高い位置にあるボールを、バックゾーンからであればアタックヒットを完了することができる。
- (3) リベロが、自チームのフロントゾーン内で、指を使ったオーバーハンドパスで上げたボールは、他の選手がネット上端より高い位置からアタックヒットを完了することはできない。
- (4) リベロがブロックしようと試みた場合、ボールに触れた場合のみ反則である。
- (5) リベロとその入れ替わる選手は、リベロリプレイメントゾーンを通じてのみコートに出入りできる。

問5 次の文章は、競技規則「第5章 中断、遅延行為とインターバル」に関する用語の説明です。
()にあてはまる語句を解答欄に記入してください。

1. 遅延行為の種類

- (1) 正規の(A)を遅らせること。(規則15.10.2)
- (2) (B)するよう指示された後、中断をさらに引き延ばすこと。
- (3) (C)選手交代を要求すること。(規則15.9)
- (4) (D)を繰り返すこと。(規則15.11.3)
- (5) (E)が試合を遅らせること。

2. 不当な要求

- (1) (F), またはサービスのホイッスルと同時か、あるいはその後に中断を要求すること。(規則12.3)
- (2) (G) のないチームメンバーが、中断を要求すること。(規則15.2.1)
- (3) インプレー中の選手の負傷や病気の場合を除いて、同じチームが同じ中断中に (H) の選手交代を要求すること。(規則15.2)
- (4) タイムアウトと選手交代の (I) を超えて要求すること。(規則15.1)
- (5) 試合での1回目の不当な要求は、試合に影響を与えず、試合の遅延にならなければ拒否される。制裁を受けることはないが、記録用紙には記録される。(規則16.1)
同じチームが試合中に、さらに不当な要求をした場合は (J) とみなされる。

問6 次の文章は、競技規則「第2編 審判員とその責務および公式ハンドシグナル」の中の「主審および副審の責務」に関するものです。主審の責務であれば「F」を、副審の責務であれば「S」を、両方の責務であれば「FS」を記入してください。

- ① ネットの上方の反則と、主としてアタッカー側のタッチネットの反則。
- ② ボールをプレーするときの反則。
- ③ サーバーおよびスクリーンを含むサービングチームのポジションの反則。
- ④ 自チームのフロントゾーン内にいるリベロが指を使ったオーバーハンドでパスを上げ、他の選手がネット上端より高い位置でアタックヒットを完了したときの反則。
- ⑤ バックプレーヤーがブロックの完了をしたときや、リベロがブロックの試みをしたとき。または、バックプレーヤーやリベロのアタックヒットの反則のとき。
- ⑥ 相手コートに向かうボールの全体またはその一部が副審側の許容空間外側を通過したとき、あるいは副審側のアンテナにボールが触れたとき。
- ⑦ ボールがフロアに触れて、主審がその接触を確認できないとき。
- ⑧ 主としてブロッカー側のタッチネットの反則と、選手が副審側のアンテナに触れたとき。
- ⑨ レシービングチームのポジションの反則のとき。
- ⑩ 相手コートおよびネット下方の空間へ侵入したとき。

平成25年度（公財）日本バレーボール協会公認 B級・C級公認審判員資格認定審査会
6人制筆記試験解答用紙

所属		氏名	
----	--	----	--

問1〈各1点×60〉

①				
1	2	3	4	5
①		②		③
6	7	8	9	10
③				
11	12	13	14	15
③		④		⑤
16	17	18	19	20
⑥			⑦	
21	22	23	24	25
⑦		⑧		⑨
26	27	28	29	30
⑨				
31	32	33	34	35
⑨			⑩	
36	37	38	39	40
⑩				
41	42	43	44	45
⑩		⑪		
46	47	48	49	50
⑪			⑫	
51	52	53	54	55
⑫			⑬	
56	57	58	59	60

問2 〈各1点×10〉

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
(6)	(7)	(8)	(9)	(10)

問3 〈各1点×5〉

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

問4 〈各1点×5〉

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

問5 〈各1点×10〉

1. 遅延行為の種類	(1)	2. 不当な要求	(1)
	A		F
	(2)		(2)
	B		G
	(3)		(3)
	C		H
	(4)		(4)
	D		I
	(5)		(5)
	E		J

問6 〈各1点×10〉

①	②	③	④	⑤
⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

平成25年度 (公財)日本バレーボール協会公認 B級・C級公認審判員資格認定審査会
6人制筆記試験解答用紙

所属		氏名	模範解答	
----	--	----	-------------	--

問1 〈各1点×60〉

①				
1	2	3	4	5
フリーゾーン	左右対称	18	9	3
①	②			③
6	7	8	9	10
7	5	8	12.5	5
③				
11	12	13	14	15
3	フロントゾーン	15	5	20
③	④			⑤
16	17	18	19	20
1.75	9	20	15	3
⑥			⑦	
21	22	23	24	25
1	2	赤い	10	25
⑦	⑧			⑨
26	27	28	29	30
16	1	1000	1500	2.43
⑨				
31	32	33	34	35
2.24	中央部	2	1	9.5
⑨			⑩	
36	37	38	39	40
10	7	5	ファイバークラス	1.80
⑩				
41	42	43	44	45
10	80	対照的	10	ネット
⑩	⑪			
46	47	48	49	50
許容空間	65	67	260	280
⑪		⑫		
51	52	53	54	55
0.30	0.325	20	15	20
⑫			⑬	
56	57	58	59	60
2	8	2	2	6

問2 〈各1点×10〉

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
×	×	○	○	×
(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
×	○	○	○	×

問3 〈各1点×5〉

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
×	○	×	×	○

問4 〈各1点×5〉

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
×	×	○	×	○

問5 〈各1点×10〉

1. 遅延行為の種類	(1)	2. 不当な要求	(1)
	A 試合中断		F ラリー中
	(2)		(2)
	B 試合を再開		G 要求する権利
	(3)		(3)
	C 不法な		H 2回目
	(4)		(4)
	D 不当な要求		I 許容回数
	(5)		(5)
E チームメンバー	J 遅延行為		

問6 〈各1点×10〉

①	②	③	④	⑤
F	F	F	F	FS
⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
S	S	S	S	S